

## 新たな財源を必要とする行政需要

## 1 「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージに掲載されている住みたい・訪れたいまちづくりに係る施策(例)

京都の歴史・文化を継承し、住む人にも訪れる人にも都市の品格と魅力を一層実感していただけるよう、今後取り組む必要がある住みたい・訪れたいまちづくりに係る施策について、「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージを基に、次のとおり取りまとめた。

※「◎」印の取組は、「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージにおいて、観光関連施策として掲げられているものである。

取 組	28年度予算額 (百万円)	5年間(28-32年度) 総経費 (百万円)
<b>低炭素・循環型まちづくり戦略</b>	<b>796</b>	<b>4,257</b>
緑視環境(ひとの目に見える緑)の充実による緑の満足度の向上	443	1,852
市民の記念植樹奨励制度による花の名所づくりの推進	3	15
環境保全や健康づくりなどを推進する公園・緑地の計画的な整備	350	2,390
企業や大学と協働した魅力ある公園利活用の促進	-	-
<b>歩いて楽しいまち・京都戦略</b>	<b>6,104</b>	<b>12,260</b>
◎公共交通機関の乗継利便性の向上	2,130	2,532
安心・安全な歩行空間創出の推進	18	205
◎パークアンドライドの充実をはじめとした自動車流入抑制策の推進	41	206
◎地域の特性に応じた自転車利用環境の整備	90	480
開空へのアクセス改善も含め広域鉄道網の充実に向けたリニア中央新幹線や北陸新幹線の誘致推進	7	33
地域住民、区役所・支所、交通事業者等との協働で進める交通不便地における公共交通の維持・確保	12	58
公共交通を核としたまちづくりの推進や地域・企業・大学等との連携など地下鉄・市バス等の増客に向けた全学的取組の推進	-	-
事故防止の取組や地下鉄烏丸線全駅への可動式ホーム柵設置をめざした自動列車運転装置搭載の新型の車両導入着手など市バス・地下鉄の安全性の更なる向上	126	335
市バスの路線・ダイヤの充実や均一運賃区間の拡大、ICカードによる定期・乗継割引サービス導入等の市バス・地下鉄の利便性向上	2,649	3,208
地域・事業者の協力によるバス待ち空間「バスの駅」や接近表示器等の整備促進によるバス待ち環境の更なる向上	175	178
地下鉄の駅ナカビジネス等の積極的な展開による駅の魅力向上と賑わいの創出	654	868
西大路駅をはじめとした駅と周辺道路のバリアフリー化による安全で快適な歩行空間ネットワークの形成	178	4,046
地域等と連携して公共交通機関の利用を促し、ライフスタイルの転換を図るモビリティ・マネジメントの推進	22	109
◎安心・安全で便利な京都式レンタサイクルの確立	-	-
らくなん進都の地区内におけるレンタサイクル社会実験の実施	2	2
<b>歴史・文化都市創生戦略</b>	<b>2,243</b>	<b>22,672</b>
オール京都による文化庁の京都への全面的な移転の推進と、文化を軸とした伝統産業を中心とするものづくり産業や観光等の更なる振興	-	-
◎東京オリンピック・パラリンピックや関西ワールドマスタースゲームズ2021、I C O M(国際博物館会議)京都大会2019等を契機とする、京都文化力プロジェクト2016-2020をはじめとした多彩な事業の展開による京都の文化力の一層の向上	195	627
子どもたちが、芸術家や職人、地域の方から「伝統文化や伝統産業のほんものの魅力」を学ぶ機会の充実	73	366
京都市美術館など、日本の文化芸術を牽引し、世界の人々を魅了する創造環境の整備	285	11,840
◎「まち・ひと・こころが織り成す京都遺産」制度の推進	8	40
全国をリードする歴史的町並み景観の保全・再生に向けた、景観上重要な地区の拡充及び景観重要建造物等の指定拡大	122	608
先斗町通をはじめとした全国のモデルとなる京都方式の無電柱化などによる道路景観の向上	608	4,000

取 組	28年度予算額 (百万円)	5年間(28-32年度) 総経費 (百万円)
国家戦略としての京都創生の推進	43	216
森林・竹林の保全・再生による古都の景観向上	42	232
歴史的景観の保全に関する景観政策の充実	13	16
きめ細やかな建築デザインの規制・誘導による良好な市街地景観の形成	8	40
優良な広告景観の創出と京都にふさわしい広告物の普及	229	1,047
京町家を次世代に引き継ぐための条例の制定や、空き家対策との一体的な取組などによる京町家の保全・活用の推進	24	410
京町家等の伝統的な構法等を用いた建築物の保存・活用の促進に向けた検討	1	1
歴史都市・京都にふさわしい、良好な道路空間の創出	25	625
まちのシンボルとなる橋の創出	-	210
円山公園の再整備(修復)による名勝地としての魅力向上	60	398
嵯峨野の原風景を生かした広沢池周辺整備	7	77
旧三井家下鴨別邸など文化財の公開による活用と保存の推進	4	35
“京都を彩る建物や庭園”制度、“京都をつなぐ無形文化遺産”制度を活用した有形・無形の文化遺産の保存・継承・活用	21	103
和装、華道、庭園文化など京都に息づき世界的に評価の高まっている和の文化の振興とユネスコ無形文化遺産への登録に向けた支援	3	15
◎文化・観光に関する情報の一元的把握及び入場券等を販売するWEBシステムの構築	-	12
「地域に根差した暮らしの文化」を通じたまちづくりの推進	-	11
京都芸術センター等による芸術家の育成・活動支援	138	691
ロームシアター京都等を拠点とする「劇場文化」の創造・発信	293	849
京都国際映画祭への支援などによる映画・映像文化等の振興	5	25
岡崎地域などまちなかを舞台にした多彩で魅力的な音楽事業の展開	-	-
姉妹都市をはじめとする世界の都市との国際交流・国際協力の推進	36	178
<b>個性と活力あふれるまちづくり戦略</b>	<b>1,751</b>	<b>6,317</b>
地域の多様な魅力と個性を生かした、京都市への移住・定住の支援	10	38
北部山間地域等の振興	459	617
「文化の薫り漂う、歩いて楽しい岡崎」の推進	38	188
JR新駅や中央市場の整備などによる京都駅西部エリアの更なる活性化	877	3,943
◎山科疏水沿いの花の名所づくりと琵琶湖疏水の魅力発信	280	1,147
都市活力の維持向上に向けた都市機能の配置及び誘導	12	42
地域景観づくり協議会制度の普及など地域の特性に応じた住民主体の景観づくりへの支援	9	46
伝統産業、伝統文化・伝統芸能、寺社、花街の文化、商店街など、多彩な資源を有する西陣を中心とした地域の活性化	-	-
四条通の地下通路の活用による都心部の更なる賑わいづくりの推進	-	-
護岸改修による高瀬川周辺一帯の魅力あふれる水辺環境の創出	66	296
府市協調による地下鉄北山駅周辺地域の活性化	-	-
<b>旅の本質を迫る観光戦略</b>	<b>417</b>	<b>1,834</b>
◎旅館やホテルをはじめとする安心・安全で多様な宿泊環境の充実	-	-
◎京都の奥深い魅力を伝える名人の育成など、京都ならではのおもてなし力の更なる向上	30	140
◎東京オリンピック・パラリンピックや関西ワールドマスタースゲームズ2021等を見据えた更なる観光客の受入環境整備の推進	27	136
◎朝観光、夜観光、温泉などの「地域観光」の充実による潜在の長期化の推進	20	84
◎京の食文化をはじめとする京都が培ったあらゆる価値の蓄積を活かした新たな観光資源の創出	4	14

取 組	28年度予算額 (百万円)	5年間(28-32年度) 総経費 (百万円)
◎地域の隠れた観光資源を紹介する, 京都産木材製駒札設置の推進	19	93
◎外国人観光客にもわかりやすい防災情報の提供など観光客等への安心・安全対策の推進	15	15
◎観光地トイレのおもてなし向上プロジェクトの推進	125	355
◎京都市地域活性化総合特区の推進による国際観光拠点の形成	-	-
◎京都市版DMOの構築・運営	22	93
◎大学等との連携による観光産業の担い手の育成	6	30
◎新たな観光資源の発掘と伝統産業製品の販路拡大を図る工房訪問事業の推進	3	14
◎体験型プログラムなど京都の価値を伝える新たな観光商品の開発推進	2	10
◎観光状況の変化や重点市場の設定による国内観光客誘致策の充実	9	45
◎効果的な魅力発信による成熟した訪日旅行者の誘致策及びマナー啓発の強化	62	308
◎国立京都国際会館・多目的ホールへの京都らしい設えの実施と2,500人規模から5,000人規模への拡充整備の促進	10	210
◎日本のMICEをけん引する京都にふさわしいMICE誘致の強化による経済効果の最大化	45	226
◎ミーティング(企業研修や会議), インセンティブツアー(報奨旅行)に特化した情報とネットワークを有する専門家の配置などによる誘致の強化	11	25
◎世界遺産・二条城をはじめとする歴史的・文化的施設を活用した京都ならではのMICE推進	7	36
<b>京都の知恵や価値観を生かした「新産業創造戦略」</b>	<b>204</b>	<b>947</b>
「京もの」の海外進出支援事業の推進	34	170
京ものブランド確立に向けた生産履歴システムの開発等の支援	3	15
「京都伝統産業ふれあい館」を核とした, 観光や販売促進の視点を取り入れた伝統産業の振興	20	95
「日本酒乾杯条例」を契機に新たなプロジェクトに取り組む伝統産業若手職人の支援	7	7
「伝統産業の日」の全国拡大をはじめとした伝統産業の振興	-	-
首都圏での発信拠点となる京都館の移転を契機とした, 国内外の人々を魅了し, 京都ファンを増やす産業・文化の魅力発信力の更なる強化	140	660
<b>未来の担い手育成戦略</b>	<b>109</b>	<b>610</b>
世界にはばたく伝統産業後継者育成事業	16	132
奥深い京都の魅力を研究する「京都学」の更なる発展への支援と国内外への発信	15	87
京都学生広報部の活動をはじめ大学生による京都の魅力の国内外への発信	3	19
京都学生祭典をはじめ学生の主体的活動と連携した, 産業や文化の振興とまちづくりなどの推進	6	28
◎京都観光職業体験など京都ならではの働き方体験事業	-	-
「京都・和の文化体験の日」の実施など若者を対象とした伝統的な文化芸術に触れる機会の創出	5	25
アーティスト・イン・レジデンスの強化など世界の若手アーティストが集まる文化芸術の交流の場づくりを目指した環境整備	2	10
空き家の紹介やアトリエの提供, 展覧会の開催支援など若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくり	20	99
伝統と文化を次代に受け継ぐ担い手の育成に向けた中高生による「京都検定3級」チャレンジ事業等の推進	42	210
<b>安心・安全と生きがいを実感できる「いのちとくらしを守る戦略」</b>	<b>840</b>	<b>4,509</b>
◎世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動の推進	122	610
京都市路上喫煙等の禁止等に関する条例に基づく喫煙マナーの向上	52	260
「まちの匠」の知恵を生かし, 地域と連携しながら市民, 事業者と共に取り組む民間建築物の耐震化の推進	649	3,554
定期的な点検, 査察の強化による既存建築物の安心安全対策の推進	16	81
観光ボランティアガイド等との協力による文化財防災対策の推進	1	4
<b>合 計</b>	<b>12,464</b>	<b>53,406</b>
うち, 「◎」印の観光関連施策の合計	3,283	7,488

- 2 その他の今後取り組む必要がある住みたい・訪れたいまちづくりに係る施策  
上記1の「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージに掲載されている取組に加え、次のような計画等を策定する予定であり、当該計画等に基づいた取組も展開していく。

＜今後、策定することを予定している計画等＞

○ **第2期京都文化芸術都市創生計画（仮称）**

京都のまちをより一層魅力に満ちた文化芸術都市として創生することを目指した施策を総合に実施するための計画

○ **次期京都市伝統産業活性化推進計画（仮称）**

日本の文化を支えてきた京都の伝統産業の活性化に向け、課題を解決するための施策や今後の方向性を定める計画

○ **京都文化力プロジェクト2016－2020実施計画**

2020年東京オリンピック・パラリンピック等を契機に、オール京都で国内外に京都の魅力を伝え、世界の人々をもてなすとともに、京都の総合的な文化力を示し、世界の人々と協働して新たな創造の潮流が起こせるよう、京都文化力プロジェクト2016-2020基本構想を踏まえ、策定するもの

○ **京都市空き家等対策計画**

本市の空き家対策をより総合的かつ計画的に推進していくための、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく計画

○ **京都市宿泊施設拡充・誘致方針（平成28年10月策定済）**

世界があこがれる観光都市の実現はもとより、市民にとって「住んでいてよかった」と実感でき、市民の豊かさにつながるまちの実現に向けて、本市の宿泊施設の拡充及び誘致並びに「民泊」に関する考え方や施策の方向性をまとめたもの

○ **歴史的景観の保全に関する取組方針**

寺社や離宮、歴史的町並みなどの「歴史的資産」と、参道や門前などの周辺の町並みとが一体となっている歴史的景観の保全に向けた、今後の取り組むべき方針や具体的方策

※ この他にも、誰もが「京都に住んでいてよかった、住みたい、働きたい、訪れたい」と心から感じていただけるまちづくりを推進していくために、様々な取組を進めることとしている。

### 3 入洛客の増加により今後更なる対応が必要であると考えられる主な課題

今後、住みたい・訪れたいまちづくりに向けて、上記1及び2の様々な取組を推進していく一方で、次のような入洛客の増加により生じる課題についても、今後、更に対応していく必要があると考えられる。

「京都観光の残念度」等は、京都観光総合調査や京都市旅館稼働実態調査を参照している。

#### (1) 宿泊環境（宿泊施設の不足等）

##### ○ 京都観光の残念度（日本人）

分類	割合		意見（例）
	26年	27年	
宿泊施設	1.1%	2.6%	・ホテルが予約しにくかった。

※ 外国人における残念度の割合は3.9%(27年)である。

##### <対応策（例）>

- 「京都市宿泊施設拡充・誘致方針」の策定及び取組の実行

#### (2) 混雑（観光地の混雑、道路の渋滞等）

##### ○ 京都観光の残念度（日本人）

分類	割合		意見（例）
	26年	27年	
人が多い、混雑	10.3%	13.8%	・バスが混雑しすぎていて利用しにくかった。 ・観光客が増加したため、ゆっくり見物できない。
交通状況 (道路の渋滞等)	7.0%	11.4%	・交通渋滞がひどかった。 ・バスを利用したが、渋滞していて時間がかかり、予定どおり行動できなかった。

※ 外国人における残念度の割合は、「人が多い、混雑」が6.4%(27年)である（「交通状況(道路の渋滞等)」の調査項目はない。）。

##### <対応策（例）>

- 市内全域の観光資源の発掘・発信による観光客の分散化の推進

#### (3) 入洛客の受入環境（多言語対応、担い手の不足等）

##### ○ 京都観光の残念度（外国人）

分類	割合		意見（例）
	26年	27年	
言語、案内、標識	19.7%	12.9%	・外国語の案内表示が足りない。 ・英語が通じない。

※ 残念度の割合は減少しているものの、依然として高い。

※ 日本人における残念度の割合は、類似する項目「観光案内所や観光標識などの情報提供や案内」が5.2%(27年)である。

- 人材の不足感はあるが人材確保が進まない。（旅館）

**<対応策（例）>**

- 外国人観光客の受入環境（Wi-Fi 環境，案内標識，多言語コールセンター，京都市認定通訳ガイドの育成等）の充実
- 次代の観光担い手の育成（京都観光経営学講座等）

※ この他にも，外国人観光客への救急対応の増加など，入洛客の増加により今後更なる対応が必要であると考えられる様々な課題がある。